

東大阪市 議会だより

No. 183

議会だより編集委員会

東大阪市荒本北1丁目1番1号

平成26年 8月15日発行 電話06(4309)3294 FAX06(4309)3868 <http://higashiosaka.gijiroku.com/gikai/>

花園ラグビー場を日本ラグビーの拠点の一つとするにふさわしい整備に対する財政的支援を求める意見書

平成26年1月29日、超党派の国会議員で構成されるラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟において、花園ラグビー場を日本ラグビーの西の一大拠点にすべきとの決議がなされました。ラグビーのまちを標榜している東大阪市としては、この決議を重く受け止め、ラグビーを中心としたまちづくりをさらに推進していくものであります。

花園ラグビー場は、ラグビーワールドカップ2019の開催会場としてだけでなく、市民が集うフィールドスポーツの拠点ともなり得る施設であり、また、ワールドカップの開催を契機に、大阪の新たな観光スポットになることによって、本市へ大きな経済効果をもたらすことが期待されています。

本市としては、アジア初のラグビーワールドカップが花園ラグビー場で開催されるという市民の夢、子どもからお年寄りまでが集う新たなランドマークになること、ワールドカップ開催をきっかけとした経済効果を期待し、日本のラグビーの拠点の一つにふさわしい整備を考えております。

しかし、当然のことながら、この整備には多大な費用を要することが見込まれる中、本市の財政状況は大変厳しく、本市だけの財源では賄うことはできないことから、例えば、国土交通省が所管する「社会資本整備総合交付金制度」などの活用を含めた国及び大阪府の財政的支援を強く求めるものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成26年6月27日

東大阪市議会

ラグビーワールドカップの成功と花園中央公園の整備に対する財政的支援を求める意見書を決議

第2回定例会

—6月13日～6月27日—

平成二十六年第二回定例会は六月十三日から二十七日まで、十五日間にわたって開きました。

この定例会では、市長から子ども・子育て支援新制度の開始に伴う条例制定や一般会計補正予算など三十三案件が提案され、審議を行いました。そのうち早期の決定が必要な校舎耐震補強等の請負契約締結十四案件は六月十三日に可決しました。また、二十七日の最終日には、子ども・子育て支援新制度特別委員会設置の決定と花園ラグビー場整備に対する財政的支援を求める意見書を決議しました。このほか、六月十八日には五名の議員が個人質問を行いました。

今定例会の経過

今定例会は子ども・子育て支援新制度の開始に伴う条例制定などが本会議で質疑された後、常任委員会へ付託され審査を行いました。

六月二十日に環境経済及び建設水道委員会は審査を

終え、採決を残すのみとなり、また、民生保健及び総務委員会は審査を進めるなか、子ども・子育て支援新制度との関係から、文教委員会での議論を注視することとしていました。

文教委員会は、第一回定例会より課題となっていた新制度開始に伴う放課後児童クラブの所管や基準条例上程の時期について、答弁調整などに時間を要し、審査ができませんでした。

二十七日の最終日、文教委員会では、課題についての結論が見出せず、なお検討時間が必要との答弁であり、また、子ども・子育て支援新制度は、常任委員会での枠組みを超えているため、正副議長へ特別委員会設置を申し入れ、その後の

本会議で、子ども・子育て支援新制度特別委員会の設置を決定しました。

また、子ども・子育て支援新制度関連条例に対する修正案が浅野耕世議員外七名から提出されましたが、否決し、花園ラグビー場を日本ラグビーの拠点の一つとするにふさわしい整備に

対する財政的支援を求める意見書決議が米田英教議員外七名から提出され、共産党は退席し、他の全会派賛成により決定し、第二回定例会を閉会しました。

(議案の各派態度表は四面に掲載)

本会議初日 議長発言(要旨)

第一回定例会では、議員の様々な指摘により、答弁調整などに審査時間を費や

し、議会としては、市民生活への影響を考え、審査期限を付す苦渋の選択をした。このことから、理事者は説明責任を果たしていない。

また、雇用開発センターの解散について、整合性のない答弁を繰り返し、さらに閉会中の総務委員会で、副市長が第二回定例会までに市の方針として新たな解散時期を示す約束を果たさなかつたことは、議会との信頼関係を損ねる重大な問題として市長に申し入れた。

市長は、遅くとも十二月定例会までに解散時期を示すとし、その決意を表明。また、副市長は給与の一部を自主返納するとしているが、今回が二度目であることを踏まえ、相当の覚悟を持って今定例会に臨むことを強く求める。

加えて、今定例会の柱である子ども・子育て支援新制度関係議案は、閉会中に民生保健・文教委員会で事前審査が行われた重要な議案であり、市長は、的確なる答弁で説明責任を果たすよう指示することを求める。

意見書提案理由説明

六月十七日、関西ラグビーフットボール協会会長と大阪府ラグビー協会会長が訪問され、本市議会にラグビーワールドカップ二〇一九日本大会成功議員連盟の決議を踏まえ、花園ラグビー場の整備を求める要望書を提出され、西の一大拠点となるよう正副議長に対して協力要請がありました。さらに、各党派にも協力を要請されるなど、両協会のワールドカップ日本大会の成功に対する熱い思いが伝わってまいりました。

本市議会としてもワールドカップの成功とさらなる花園中央公園の整備を求める「花園ラグビー場を日本ラグビーの拠点の一つとするにふさわしい整備に対する財政的支援を求める意見書」を提案いたします。

財産区管理委員などの選任に同意

今定例会に提出された人事案件は、次の方の選任に同意または異議ない旨の答申をしました。(敬称略)

財産区管理委員

野尻 喜正

人権擁護委員

谷口 明

雪松 茜